

利用者の知識及び能力の向上を図るための取組に関する報告書

| | |
|------|--------|
| 事業所名 | ラウト沼津 |
| 管理者 | 小林 理恵子 |

令和5年度について、当事業所が行った利用者の知識及び能力の向上のための支援の取組状況について報告する。目的は、利用者の一般就労に向けた意欲の創出や利用者の社会参加を図るためである。

| | |
|-------|---|
| 就労 | ハローワークの求人票を毎回更新し、利用者がいつでも手にとれる場所に掲示した。 |
| | 興味関心のある仕事を見て頂きながら、必要とされる場合に面談を行った。 |
| | 「職業準備性ピラミッド」の図を掲示し、一般就労に向けて何が必要なのかと一緒に確認し、目標に取り入れた。 |
| | 施設外就労の機会を増やし、事業所外において経験の幅を広げた。 |
| 意欲の創出 | 利用者が苦手な作業にも取り組める時間をつくり、作業幅を広げ自信がもてるように支援した。 |
| | 利用者個々のストレングスを中心に評価し、課題に前向きに取り組めるような支援計画を作成した。 |
| 社会参加 | 自社製品を販売するにあたり、イベントなどへの参加や納品等を一緒に行った。 |
| | 作業請負先への納品等の作業を一緒に行った。 |
| | 他の企業からの受注品の試作品と一緒に作成した。 |